

呉医療センターで診療を受けられる皆様へ

当院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。

① 該当者	2022年1月1日～2023年12月31日の期間に当院にて感染症と診断され、抗菌薬治療を受けた患者さん			
② 研究課題名	Antimicrobial Stewardship Team (AST) 専従薬剤師による広域抗菌薬開始前の培養提出率向上への取り組みとその効果			
③ 実施予定期間	2024 年 1 月 ～ 2025 年 3 月			
④ 実施機関	国立病院機構呉医療センター			
⑤ 研究代表者	氏名	首藤毅	所属	呉医療センター 感染対策部 部長
⑥ 当院の研究責任者	氏名	首藤毅	所属	呉医療センター 感染対策部 部長
⑦ 使用する試料	収集する診療情報は下記の通りです。 年齢、性別、既往歴、入院の契機となった疾患名、感染臓器、各種培養結果（血液培養を中心に、喀痰、尿など）、使用抗菌薬、体温、採血結果、治療転機、開始日・治療終了日、術前療法、再発の有無・再発確認日・再発治療・最終生存確認日など ※上記診療情報は、研究終了まで厳重に保管され、その後適切な方法で破棄されます。 診療情報は当院の研究担当者において保管されます。 ※当院の研究者4名が収集した情報を取り扱います。			
⑧ 目的	当院では、カルバペネムの供給停止を契機に抗菌薬適正使用支援チーム（以下、AST）薬剤師を専従化し、早期モニタリング・フィードバック（以下、Prospective audit and feedback : PAF）とカルバペネム系抗菌薬許可制によりカルバペネムの適正使用を報告しています（高田ら：日環境感染会誌 2023; 38(6): 272-7.）。しかし、タゾバクタム/ピペラシリンを含む広域抗菌薬使用時の培養提出率が低く、広域抗菌薬適正使用への課題があります。今回、AST 専従薬剤師の継続した AS 活動が、培養提出率を含めた臨床指標にどう影響したかを調査し報告することを目的に実施します。			
⑨ 方法	①に記載している対象患者さんの、⑦に記載の診療情報をカルテより抽出し、データの解析を行います。			
⑩倫理審査	倫理審査委員会承認日	2024 年 1 月 10 日		
	院長承認日	2024 年 1 月 10 日		
⑪公表	個人情報保護は保護したうえで、研究成果を学会や医学論文などに発表することがあります。			
⑫プライバシー	本研究では、名前・住所・電話番号等の個人情報は一切使用しません。			
⑬知的財産権	将来、この研究の成果が得られ、知的財産権が生じる可能性もありますが、その権利は研究者もしくは所属する研究機関に帰属します。			
⑭利益相反	本研究では、利害の衝突は一切生じません。			
⑮問い合わせ	連絡先	高田正弘	電話	0823-22-3111（代表）
	国立病院機構呉医療センター 感染対策部			

呉医療センター院長